

環境委員会

平成28年度活動報告

- ◆緑化活動
 - プランターの飾花／6月1日付更新
- ◆クリーン作戦
 - 初夏クリーン作戦／5月19日
165名の参加
 - 初秋クリーン作戦／9月8日
158名の参加
 - 冬季クリーン作戦／11月10日
182名の参加
 - 春季クリーン作戦／3月9日
191名の参加
- ◆ノーマイカーデー運動
 - 冬季運動 12月8日
- ◆放置自転車・バイク実態調査 実施
 - 6月9日実施
ルミナリエに合わせ1回実施
11月24日実施
- ◆環境委員会定例会議
 - 4月28日、7月21日、10月13日 実施
- ◆エコキャップ運動
 - ・5月19日……197kg
 - ・9月8日……322kg
 - ・11月10日……195kg
 - ・2月9日……232kg
 - 年間合計……946kg

平成29年度活動計画

- ◆緑化活動
 - ・プランターに関しては現状の契約を前年通り更新(6月1日)
- ◆クリーン作戦
 - ・年4回実施
 - 初夏クリーン作戦／5月18日
 - 初秋クリーン作戦／9月14日
 - 冬季クリーン作戦／11月9日
 - 春季クリーン作戦／3月15日
- ◆ノーマイカーデー運動
 - ・年1回実施 10月12日
- ◆放置自転車・バイク実態調査・警告タグ貼り
 - ・6月8日
 - ・年1回実施 ルミナリエに合わせ、市と打ち合わせのうえ、実施(11月16日)
- ◆環境委員会 定例会議
 - 4月27日、7月20日、10月12日、2月15日
- ◆エコキャップ運動
 - 社会、地域貢献として有効な限り発展的に継続させる



クリーン作戦

広報委員会

平成28年度活動報告

- ◆広報誌「居留地会議」No.37発行
 - 平成28年7月1日 2,000部発行
 - 内容:神戸開港150年など
- ◆親睦会・イベント等の写真撮影・記録
 - ・定時総会／4月19日
 - ・納涼会／7月8日
 - ・新年賀詞交歓会／1月24日
- ◆旧居留地連絡協議会 Webサイト運用管理
 - ・活動カレンダー更新
 - ・フォトアルバム掲載(各活動の撮影)
 - ・各種問い合わせ対応
- ◆旧居留地連絡協議会オフィシャルサイトの運営管理
 - ・「神戸旧居留地BLOG」をほぼ毎日更新
- ◆旧居留地思い合いマップ改訂版の作成・配布(都心づくり委員会合同事業)

平成29年度活動計画

- ◆広報誌「居留地会議」No.38発行
 - 7月1日 2,000部発行予定
- ◆旧居留地連絡協議会 WEBサイトの活用促進
- ◆旧居留地連絡協議会オフィシャルサイトの運営管理
- ◆イベント等の写真撮影・記録
- ◆旧居留地思い合いマップの作成・配布(都心づくり委員会合同事業)



居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

▼居留地計画図(1870年):神戸市立中央図書館蔵



ハイカラの源は
雑居地にあった?

曲折を経た神戸開港

150年を機に「開国への潮流」を探る



▲開港当時の神戸港 (イラストレイテッド・ロンドン・ニュース:神戸市立博物館蔵)

神戸開港150年。世界に開けた港を通じて神戸は、さまざまな「初めて」を生み、全国にハイカラ文化を発信し続けてきました。この事実は、昨年の居留地会議「37号」で詳報しましたが、今回は、神戸の港がどのような経過をたどって開港に至ったのか。決してすんなりとは進まなかった複雑な道筋をつまびらかにしていきます。開港そのものが横浜に9年も遅れ、おまけに居留地の造成も間に合いませんでした。江戸幕府から引き継いだ明治新政府は、大慌てで日本人との混住を認める「雑居地」という苦し紛れの奇策で乗り切ることになりました。その矢先、開港直後に「神戸事件」が発生、発足間もない政府を窮地に陥れます。開港にこぎ着けるまでの産みの苦しみとは一体どんなものだったのでしょうか。

日本が海外列強から直接「開港」を迫られたのは1853年、米国のペリー提督が黒船に乗って浦賀(神奈川県横須賀市)に来航した時で、慌ただしく幕末に突入します。翌年結んだ日米親条約によって下田と箱(函)館が開港しました。次いで米国から求められたのは、大坂(阪)と京都の開港・開市でした。しかし当時、皇居があった京都の開港と程近い大坂の開港は朝廷から拒否され、代わる候補の堺港も陵墓が集中する地域に近いとの理由で却下された結果、三番手の兵庫が1858年の日米修好通商条約で開港地となりました。

ところが、新たな問題が浮上します。孝明天皇の攘夷の意思が強く、頑として兵庫開港を認めません。幕府は予定より5年延期を申し入れ、1868年の開港を目指し、朝廷に懇願し続けましたが、許しは出ません。日増しに列強の圧力が強まり、1865年には4カ国の代表が軍艦で兵庫に乗り付けるに及び、開港期限まで半年余りに迫った1867年5月、しびれを切らした幕府は、勅許が無いまま1868年1月1日の開港を約束してしまいます。ただし、兵庫ではなく、約3.5*。東の神戸村でした。古代から続く兵庫港周辺は2万人もの人口を抱え、人家が密集し外国人居留地



▲兵庫の賑わい (西国名所之内蔵乃町:神戸市立博物館蔵)

2017年の旧居留地及び周辺のイベント情報

※各イベントは予告なく変更や中止する場合がありますので、ご了承ください。

- ◆7月15日(土)～8月6日(日) 神戸開港150年記念 海フェスタ神戸 神戸港
- ◆7月16日(日)～17日(月祝) Kobe Love Port・みなとまつり メリケンパーク
- ◆8月5日(土) みなとこぼれ海上花火大会 メリケンパークほか(観覧場所)
- ◆8月19日(土) こうべ海の盆踊り2017 メリケンパーク
- ◆9月1日(金)～3日(日) 神戸よさこいまつり ハーバーランドほか
- ◆9月2日(土)～3日(日) 港町ポリフォニー 御影公会堂
- ◆9月23日(土)～24日(日) KOBE ALIVE 神戸市中央区各所
- ◆10月14日(土) 神戸開港150年 旧居留地JAZZプロムナード 朝日ビルディング1F
- ◆11月19日(日) 神戸マラソン 神戸市役所前(スタート)
- ◆12月8日(金)～17日(日) 神戸ルミナリエ 神戸旧居留地

神戸開港150年記念
港都KOBE芸術祭
PORT CITY KOBE ART FESTIVAL

◆2017.9.16(SAT)～10.15(SUN)

明治の開港を契機に、人・もの・情報の拠点として先駆性・多様性に富んだ文化風土が育まれてきた神戸。その玄関口となった神戸港は今年で開港150年を迎えます。海上から眺める神戸の海・街・山並み プラスアート! この秋必見の神戸港の魅力をお楽しみください。

会場/神戸港・神戸空港島 入場/無料(ただし、アート鑑賞線船は有料)

- 港都KOBE芸術祭連携事業
- ◆9月2日(土)～9月22日(金) Robert Frank:Books and Films,1947-2017 KIITO
 - ◆7月4日(火)～9月28日(木) 拡がる彫刻 熱き男たちによるドローイング-植松室二 JUN TAMBA 榎忠 BBプラザ美術館
 - ◆9月16日(土)～11月5日(日) 東日本大震災復興支援 未来絵プロジェクト巡回展～絵の力～ メリケンパークほか
 - ◆9月2日(土)～9月22日(金) ヨコオ・ワールド・ツアー 横尾忠則現代美術館
 - ◆9月9日(土)～12月24日(日) 横尾忠則 HANGA JUNGLE 横尾忠則現代美術館

新会員募集

●入会のお問い合わせ、お申し込みは、
078-333-2444 大丸神戸店(事務局/終・土池)まで
078-333-4111 ノザワ(事務局/古賀)まで

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町 30 大丸カーポート 7 階
Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052

の確保が難しかったからです。片や神戸はまだ寒村で、特に旧生田川（現フラワーロード）両岸には人家がほとんど無く、荒れた畑地が広がっているだけでした。居留地を造成するには願ってもない土地ですが、一つ大きな欠点がありました。人が住まないのには理由があったのです。そそり立つ六甲山から南斜面を下る急流は、布引の滝となって生田川として大阪湾に注ぎ、一たび豪雨となれば、川から大量の水があふれ、何度も洪水をもたらしてきました。だから人は住まなかったのです。

兵庫転じて神戸開港の諸外国への約束から1カ月後、頑なだった朝廷からようやく勅許が下り、いよいよ港湾整備と旧生田川河口西岸一帯に居留地の造成が急ピッチで進みます。神戸は寒村だったとはいえ、幕末の1855年には、網屋吉兵衛が設置した船たて場（ドック）があり、加えて1865年3月までの1年ほどで閉鎖されたものの、勝海舟肝いりで誕生した神戸海軍操練所跡が残っていました。

居留地は、英国人C.ブロックの設計で着工したものの、ようやく整地が済んだ頃、幕府の崩壊とともに中断。後に初代兵庫県知事となる伊藤俊輔（博文）が、同じ英国人のJ.W.ハートに設計を改めさせて工事を再開。開港から7カ月遅れ、同年8月に整備の終わった一部区画が初めて競売に掛けられ、5年後には全域が完成、完売しました。その後の居留地については、前号の通りですが、開港後の神戸に更なる試練が待ち受けていました。

先の「神戸事件」です。1603年から260年以上続いた幕府が、討幕の嵐が吹き荒れる中、息も絶え絶えに最後の大仕事「神戸開港」を何とか成し遂げた2日後、京都で「王政復古」の号令がとどろき、鳥羽・伏見の戦

いから戊辰戦争に突入します。1769年の上知令により尼崎藩領から幕府直轄領となっていた当地は、真っ先に新政府軍に占拠され、幕府の役人が大坂町奉行所兵庫勤番所から逃げ去った後、一時無政府状態となっていました。

混乱のさなかに発生したのが、外国水兵と備前藩兵とが衝突したこの事件です。たまたま居合わせた伊藤が事件処理に走り、公家で外国事務御用掛だった東久世通禧が勅使として英国公使のパークスら英・仏・米・蘭・伊国とプロシア（現ドイツ）の6カ国代表と素早く交渉、日本の責任を認め、備前藩士・滝善三郎の切腹をもって事を解決させました。

神戸事件の難しい折衝こそ、新政府が初めて経験した外交交渉でした。日本の主権がどこにあるのか見極めかねていた各国に対峙して「天皇親政」を伝えるとともに、幕府ではなく新政府が日本を代表する政権であると宣言しました。場所は、開港当時完成していた数少ない建物の運上所（税関）でした。

一方、開港に間に合わなかった居留地に代わって、窮余の一策として暫定的に日本人との混住を認めた「雑居地」の誕生は、神戸の「ハイカラ都市」としての性格形成を運命づけていきます。

居留地に隣り合う雑居地を合わせると、東西は旧生田川～宇治川、南北は海岸～山麓に広がります。現在、居留地を区切る鯉川筋から西隣に「南京町」が、西国街道から北側の北野・山本両地区には「異人館街」が広がり、多くの観光客を集めています。神戸がハイカラ都市となったのは、まだ理由があります。

先に触れた、尼崎藩領から幕府直轄地となった上知令です。以後、城下町にありがちの因習やしがらみが徐々に薄れ、隣に外国人が住んでも抵抗を感じないばかりか、逆に異なる文化や生活様式を旺盛に吸収していきました。古くからの港町・兵庫と異なり、神戸は寒村だったが故に、進取の気風にあふれた一旗組が新天地と見定め、各地から集住してきました。さらに神戸が開港した1868年も世界の海運史上、絶妙のタイミングだった事実も見

逃せません。翌年11月にはスエズ運河が開通し、欧州とスピード航路で直結したからです。神戸にいち早くもたらされ、全国に発信されたハイカラ文化は時代を超えて健在です。

さて、今年は開港150年目の節目ですが、揺らぎのない「開港日」がしばしば誤解されるため、はっきりさせておきましょう。旧暦慶応3年12月7日、西暦に換算すると1868年1月1日。日本が太陽暦を採用する明治6年より前の事象年を略記する場合、新旧の月日が1カ月ほどずれるのを承知の上で換算せず、西暦年を「横滑り」させるのが普通です。このルールに従えば「神戸開港（慶応3=1867年）」となり、実際とは1年もの誤差が生じてしまいます。さらに厄介なのは、逆に西暦1868年を和暦へ単純にスライドすると、慶応4年（9月からは明治元年）となり、混乱に拍車を掛けます。1日しかない開港日に、二つの西暦と三つの和暦がひしめき合うせいも、今も一般向けの歴史読み物には誤解が絶えません。本来、来年であるはずの開港150年を今年に位置付けるのは、100年記念行事をうっかり「横滑り年」を起点として1967年に実施してしまった名残かもしれません。

以来、10年ごとの節目イベントは全て1年前倒しで実施されているため、今さら実周年の2018年というわけにもいかないのでしょうか。新聞などは混乱を避けるため、わざわざ今年2017年を「150年目」と呼んでいるのもうなずけます。ちなみに「開港50周年」は何と3年も遅い1921年に実施していますが、遅れた理由はよく分かりません。

「開国」「開港」に至る歴史的流れについて、ペリー来航以前にも踏み込み、当時の資料を基にたどる特別展「開国への潮流―開港前夜の兵庫と神戸」が8月5日から9月24日まで神戸市立博物館で開かれます。



▲神戸市役所1号館展望ロビーから見た居留地



▲神戸海軍操練所鬼瓦：神戸市立博物館蔵



▲神戸事件発生地/三宮神社

旧居留地連絡協議会 平成28年度活動報告と 平成29年度活動計画

2017年4月24日（月）神戸銀行協会において平成29年度の定時総会が開催され、昨年度の活動報告及び今年度の事業計画と予算案が承認されました。

親睦・イベント委員会 平成28年度活動報告

- ◆懇親会（定時総会后）／4月19日
- ◆親睦ゴルフコンペ／5月25日
於：ライオンズカントリークラブ（10名参加）
- ◆納涼会／7月8日
於：ステラコート（54名参加）



納涼会

- ◆プロムナードコンサート／10月15日
於：神戸朝日ビルディング1階 ピロティ
- ◆秋のバーベキュー大会／11月12日
於：神戸ワイナリー（30名参加）
- ◆新年会（賀詞交歓会）／1月24日
- ◆ボウリング大会／3月9日
於：神戸ボウリング倶楽部（31名参加）
- ◆月例委員会
4月14日、5月23日、6月21日、7月8日、8月8日、9月30日、10月15日、11月12日、12月14日、1月24日、3月9日 計11回

- ### 平成29年度活動計画
- ・懇親会（総会后）／4月24日
 - ・納涼会／7月28日
 - ・親睦ゴルフコンペ／秋頃
 - ・バーベキュー大会／11月頃
 - ・懇親会（新年賀詞交歓会）／1月
 - ・ボウリング大会／3月

防災・防犯委員会 平成28年度活動報告

- ◆防災・防犯委員会
4月18日、5月17日、6月17日、7月19日、9月16日、10月24日、11月17日、12月16日、1月16日、2月17日、3月17日
旧居留地倶楽部にて毎月17日前後に開催
- ◆市民救命士講習会／7月14日
東京海上日動火災保険株式会社 8階 大会議室 29名参加
- ◆市民救命士講習会／10月17日
東京海上日動火災保険株式会社 8階 大会議室 19名参加
- ◆防災視察会／10月21日
人と防災未来センター 20名参加
- ◆市民防災リーダー研修／11月27日
中央消防署 参加者1名
- ◆防犯講習会／12月16日
神戸朝日ビルディング 13階 アッセンブリールーム 参加者27名
防犯講習・護身術実技指導（生田警察生活安全第一課）
- ◆防災訓練（「文化財防火デー」に伴う広報訓練）／1月16日
ノザワ十五番館 参加者8名
「文化財防火デー」に伴う広報訓練

親睦・イベント委員会 平成28年度活動報告

- ◆懇親会（定時総会后）／4月19日
- ◆親睦ゴルフコンペ／5月25日
於：ライオンズカントリークラブ（10名参加）
- ◆納涼会／7月8日
於：ステラコート（54名参加）



防災訓練

- ◆ひょうご安全の日のつどい1.17
メモリアルウォーク／1月17日
東遊園地からHAT神戸まで（帰宅訓練コース）
参加者11名
- ◆防災訓練／3月23日

- ### 平成29年度活動計画
- ・防災防犯委員会 定例会議（原則毎月）
 - ・防災福祉コミュニティ代表者会議
 - ・防災マネジメント講習
 - ・市民救命士講習会
 - ・防犯講習会
 - ・防災技術研修会
 - ・市民防災リーダー研修
 - ・旧居留地防災訓練
 - ・メモリアルウォーク

まもも 都心づくり委員会 平成28年度活動報告

- ◆地区内建設計画、店舗計画の聴取、助言
・関西電力 京町筋電力ケーブル工事
・ランボルギーニ
・フレッドシーガル
・チャータードホテル
・ベルスタッフ
・スーツカンパニー
・ローソン（アクセア）
・商工中金外壁改修
・リーバイス
- ◆ユニバーサルデザインについて
・広報委員会と協同で「神戸居留地思い合いマップ」を改訂
- ◆夜間景観形成実施計画
・「夜間景観ガイドライン」を作成



- ◆放置自転車対策
・環境委員会と共同で「マナー違反防止タグ」と「迷惑駐輪防止啓発チラシ」を各1万枚印刷のうえ防災防犯委員会の協力で隣組を通じて各ビルに配布
- ◆委員会開催実績
4月20日、6月21日、7月20日、9月20日、11月14日、12月12日、1月24日、2月15日、3月21日

- ### 平成29年度活動計画
- ・旧居留地地区内の建設計画等に対する聴取、助言
 - ・他団体・他都市の取組事例の研究、意見交換
 - ・道路環境のあり方の検討（放置自転車対策、新規改修道路への提案等）
 - ・神戸市夜間景観形成実施計画への取り組み
 - ・その他